



東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所 廃棄物埋設までの全体概要

2022年 10月 24日

日本原子力発電株式会社



1. 東海発電所の廃止措置の状況

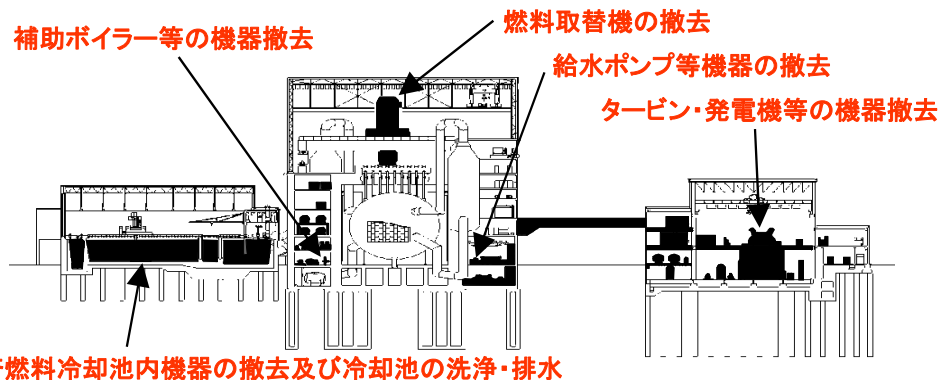


廃止措置工事 全体概要

■ : 撤去対象

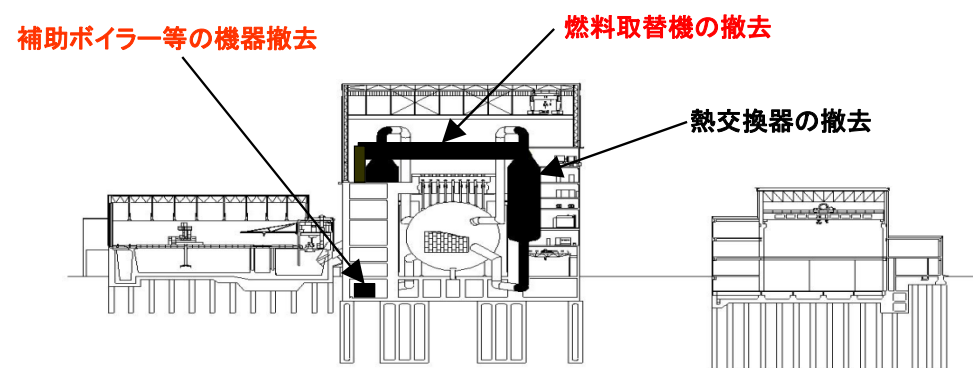
第1期工事

原子炉領域以外の撤去



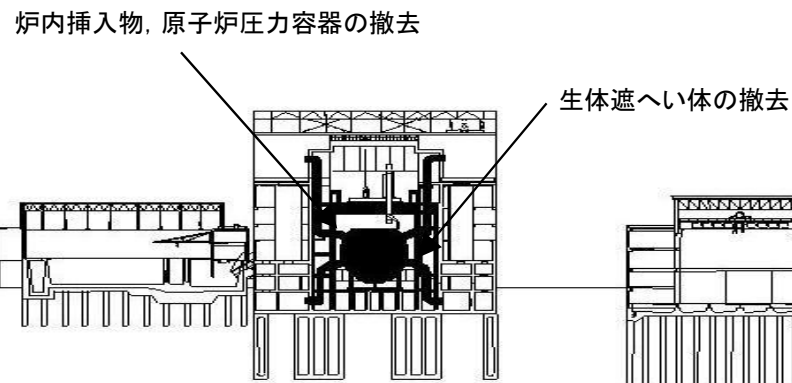
第2期工事

原子炉領域以外(主に熱交換器)の撤去

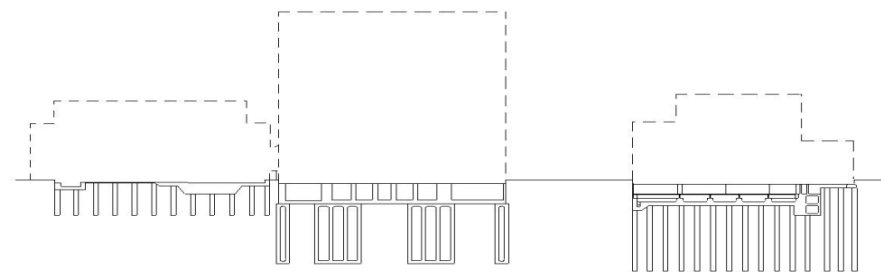


第3期工事

原子炉領域の撤去



建屋等の撤去








※: 赤字は撤去完了

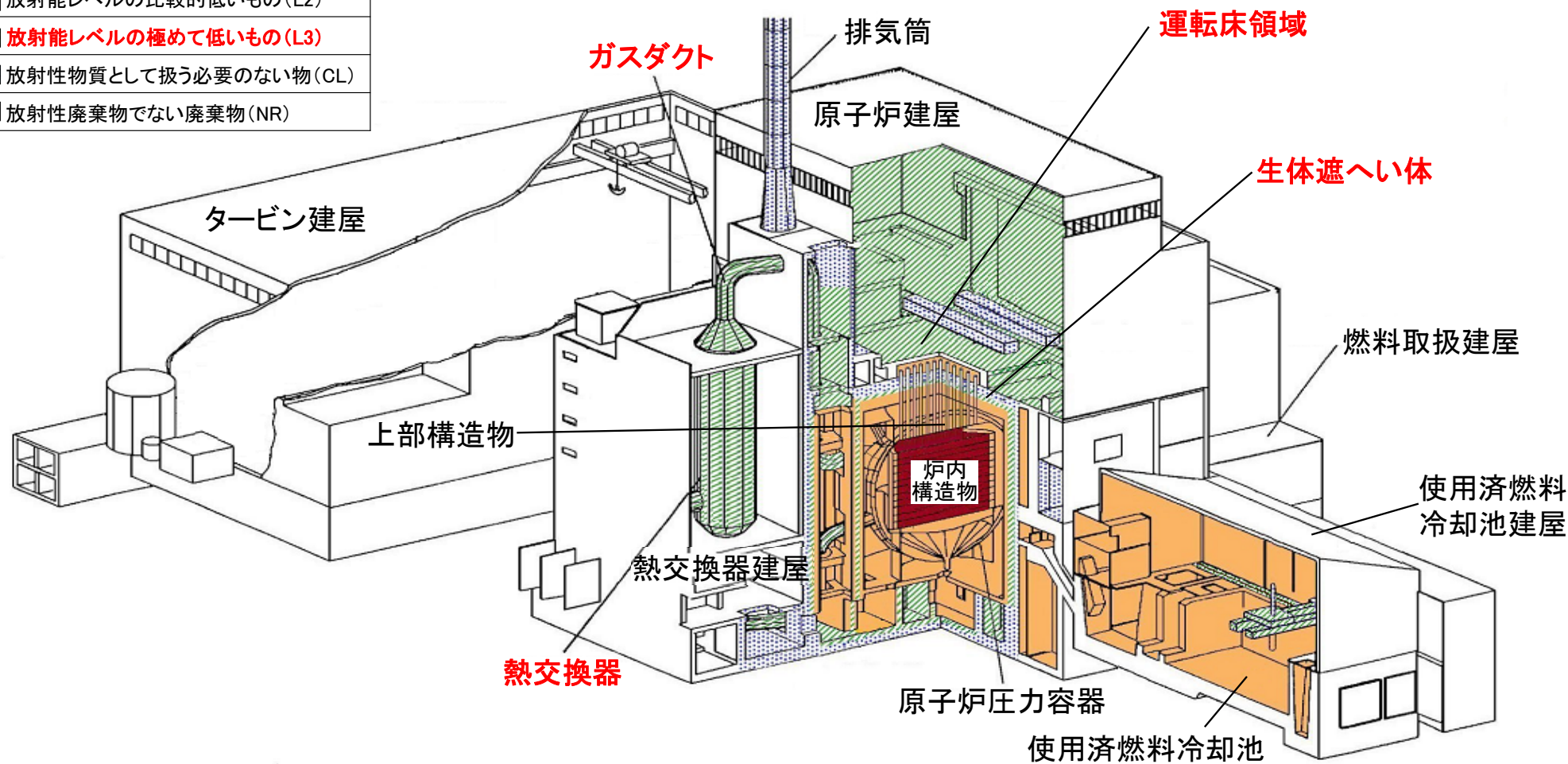


廃止措置対象施設の推定汚染分布

放射能レベル区分

低レベル
放射性
廃棄物

	放射能レベルの比較的高いもの(L1)
	放射能レベルの比較的低いもの(L2)
	放射能レベルの極めて低いもの(L3)
	放射性物質として扱う必要のない物(CL)
	放射性廃棄物でない廃棄物(NR)





埋設対象物(廃棄物の物量)

東海発電所から発生する低レベル放射性廃棄物のうち、放射能レベルが極めて低いもの(L3廃棄物)で、以下のものを埋設する。なお、L3の廃棄物に含まれる放射能量の設定は、運転停止から約20年間以上の減衰期間を経ており、これを考慮している。

廃棄物種類	対象廃棄物	数量(トン)
金属廃棄物	解体撤去工事に伴い発生する(した)もの (熱交換器, その他機器・配管等)	約4,700※
	運転中に発生した廃棄物	約100
	廃止措置中に新たに設置する解体工事用機器	約1,300
コンクリートブロック	生体遮へい体	約9,400
コンクリートガラ	コンクリートのはつり等に伴い発生するコンクリートの破片等	約300
	運転中に発生した廃棄物	約200
合計		約16,000

※ おおよそ半分は解体済み



L3廃棄物保管状況(熱交換器の例)(1/2)

熱交換器伝熱管



L3廃棄物保管状況(熱交換器の例)(2/2)



No.1熱交換器胴体



No.2熱交換器胴体



ホットガスダクト



熱交換器内部構造物A



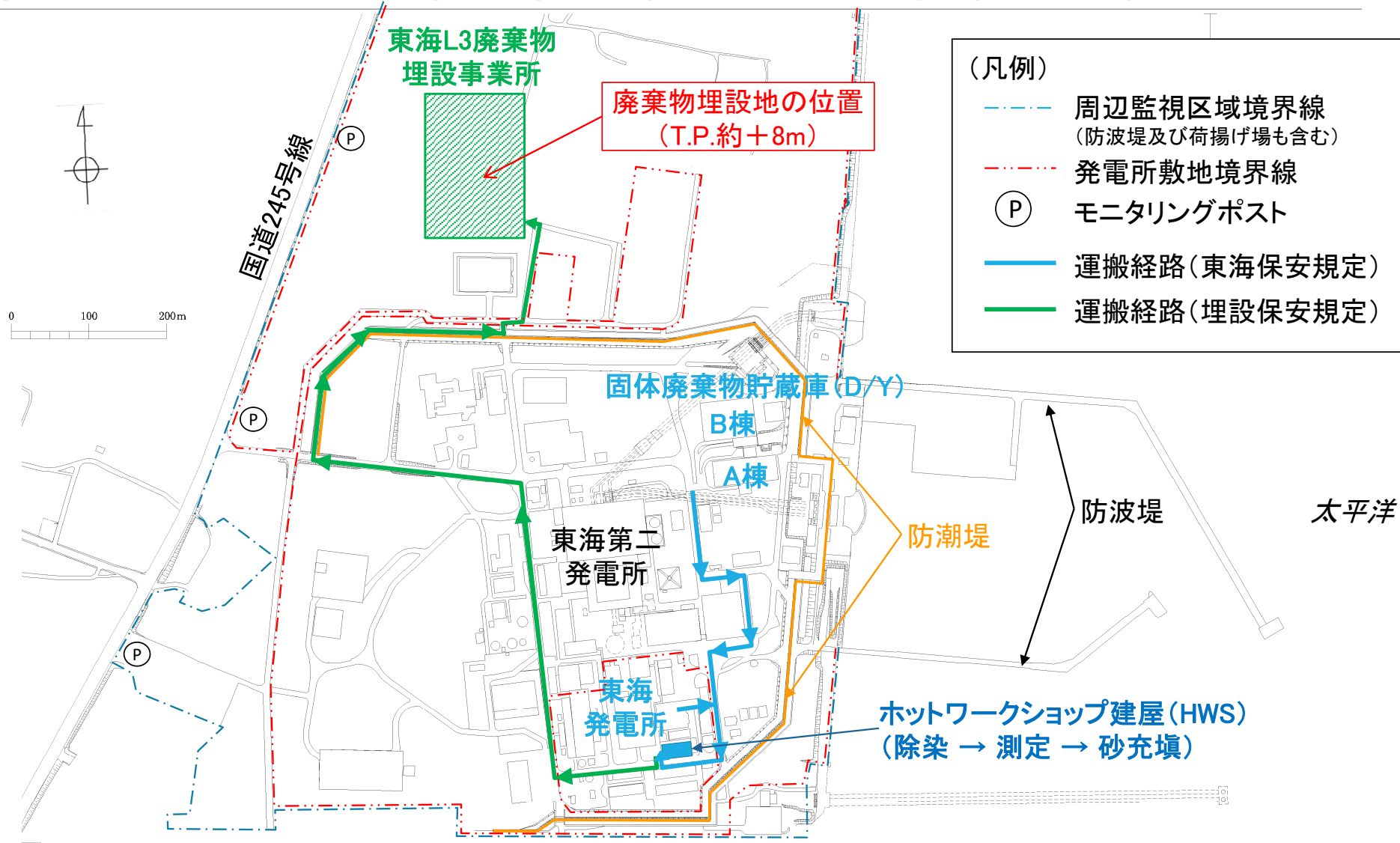
熱交換器内部構造物B



2. L3廃棄物の運搬・処理・測定作業



東海発電所～廃棄物埋設施設までの全体物流(案)





L3廃棄物処理作業全体フロー(金属廃棄物の例)

東海発電所

ホットワークショップ建屋

解体現場／建屋内



L3廃棄物(金属)

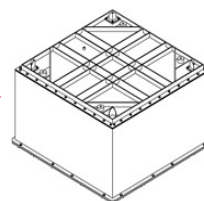
分別

除染

・除染

測定

- ・放射能濃度測定
- ・重量測定



・容器収納

砂充填

- ・砂充填
- ・重量測定

廃棄物埋設地へ

固体廃棄物貯蔵庫



保管



3. 東海L3埋設作業

施工手順の全体概要(例)

